

整理No. 2018-54		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2018年 4月16日(月) 13時00分 天候(晴) 温度(°C) 湿度(%)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不 _休 災害 <input type="radio"/> 休業災害(休業: 日)			
被災者	部門	製造部門		雇用形態 <input checked="" type="radio"/> 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	23 歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 女	勤続年数	5年 経験年数 4年
	傷病名	炎症			
	傷病部位	目			
災害発生状況	溶剤で希釈されたイソシアネート原料(ドラム)を仕込みタンクにドラムダンパーを用いて、投入する際、ドラムの蓋を開けた瞬間、ベーパーと液が噴出し、髪の毛と顔にかかった。		状況概略(写真orイラスト)		
	ゴーグルをしており、目には直接入らなかったが、髪の毛と顔に付いた液を急いで拭き取る為に、溶剤を含ませたウエスを使用した。				
	そのウエスが、顔を拭いている過程で誤って目に入り、炎症を起こした。				
	災害の型 ^{※1)} 7(目に入る)		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他()		
起因物: 原料(イソシアネート・溶剤)		特記事項 なし			
原因分類	1. 人的要因(man) : 原料を投入する前にドラムの内圧抜きをする工程を怠った。 (急な注文での製造であった為、早く作業をして、製品を仕上げようと焦りがあった)				
	2. 物に関する要因(machine) : 保護面を装着していなかった。 (当該仕込み作業では、保護面着用の徹底はされていなかった。)				
	3. 環境要因(media) : —				
	4. 管理的要因(management) : 安全対策を含め、作業標準はあったが、守られていなかった。				
対策	・作業標準と安全対策(含む、保護具着用のルール)の再認識を徹底するための教育を実施。 ・SDS等で改めて、原料の性質、危険性と取り扱う上の再徹底を実施。(若手から中堅社員対象) ・上記に加え、作業時にドラム口部にスライドコックを取り付けて仕込む。(※移動タンクへのドラム蓋落下の可能性や仕込みづらさも改善)				
	対策分類 ^{※2)} : 1-4(安全設計)、1-6(教育)、2-1(マネジメント)、2-4(危険認識)				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)